



## A2.

- 呼吸とは、肺で酸素を取り込み、二酸化炭素を排出することです。この呼吸をコントロールしているのは脳です。寝ているときなど意識しなくても呼吸をしているのは脳（脳幹）が働いているためです<sup>3)</sup>。酸素を使っても動脈血酸素飽和度（SpO2値）が上昇しないときは、呼吸回数が減っているまたは呼吸が浅くなっている可能性が考えられるため、呼吸器またはアンビューバッグなどで呼吸を補助する必要があります。
- 呼吸器は全面的に呼吸を補助する場合と、一部分助ける場合があります。アンビューバッグは用手的に肺に空気、酸素を送るときや自発呼吸が浅くなった時に使用したり、人工呼吸器を外して気管内吸引をした後など肺を再度膨らます時に使用します。

## 参考文献

- 3) 藤元メディカルシステム：呼吸の基礎知識  
[http://www.fujimoto.or.jp/home-medicine/internal/i\\_2/index.php#entry\\_2https://www.ohara-ch.co.jp/meitantei/vol03\\_1.html](http://www.fujimoto.or.jp/home-medicine/internal/i_2/index.php#entry_2https://www.ohara-ch.co.jp/meitantei/vol03_1.html)  
(2021年2月3日アクセス)